

專門教育科目

III

1. 人文学部の教育プログラムの全体像

人文学部の教育プログラムは、共通教育科目と学部専門教育科目の2つによって構成されています。共通教育科目と専門教育科目は、相互に補完しあい、全体で人文学部の教育目標を実現します。

A. 共通教育科目

神戸学院大学では、全学的な協力体制のもとに、全学共通の教養教育・基礎教育を充実させるために、「共通教育プログラム」を実施しています。共通教育科目では、より幅広く多様な科目の中から自らの興味や将来の目標にあわせた履修が可能になりますので、各自が目的意識をもって履修することが望まれます。多様な分野からバランスよく履修することもできますし、特定の分野（たとえば、言語分野、情報分野など）に重点をおいた履修も可能です。

共通教育科目は、次の2つに大別されたカリキュラムを提供しています。

- ①学部教育の基礎となる技能（リテラシー）をトレーニングし、社会への関門を突破するための力を養うプログラム
- ②学部教育の基礎となる広い視野と柔軟な思考力を養うプログラム

B. 人文学部の専門教育科目

21世紀の世界はグローバル化や情報処理技術の急激な進展とともに、ますます高度化・複雑化し、その反面、人々は新たな環境の変化に心と行動の調和が保てなくなってきています。人間は物質的な欲望が満たされただけでは生きられず、健康・快適で豊かな心が満たされるような生活を求めているのです。そのためには、人間を多面的に考察する研究と、それにもとづいた教育が必要です。

人文学部は、そのような新たな教育・研究領域を開拓するために1990年に誕生しました。その後何度かの改編を経て、2018年度に人間心理学科が心理学部として独立し、人文学科のみの1学科体制となりました。

人文学部では、多様な学問分野を総合して人間を多面的に捉え直す「人文の知」を創案し、斬新な教育プログラムを学生みなさんに提供して、社会の大きな変化にも適応できるような人材の養成を図ろうとしています。このプログラムを最大限に活用して、みなさんの目標を実現してください。

人文学部専門教育科目一覧表

区分		1 年 次				2 年 次				
		第1セメスター		第2セメスター		第3セメスター		第4セメスター		
		科 目 名	単位数	科 目 名	単位数	科 目 名	単位数	科 目 名	単位数	
共通科目部	必修									
	選択	○人文入門演習	2	○基礎演習	2	○実践演習Ⅰ	2	○実践演習Ⅱ	2	
科目群 人文の知	選択	人文の知A	2	人文の知D	2	人文の知専門講義ⅠA	2	人文の知専門講義ⅡA	2	
		人文の知B	2	人文の知E	2	人文の知専門講義ⅠB	2	人文の知専門講義ⅡB	2	
		人文の知C	2	人文の知F	2					
人間探究科目群	選 択					教育制度論	2	教育課程論	2	
						人間形成論Ⅰ	2	人間形成論Ⅱ	2	
						生涯学習論Ⅰ	2	生涯学習論Ⅱ	2	
						哲 学 Ⅰ	2	哲 学 Ⅱ	2	
						文化交流論Ⅰ	2	文化交流論Ⅱ	2	
						映像研究Ⅰ	2	映像研究Ⅱ	2	
						芸 術 論	2			
						音楽芸術研究Ⅰ	2	音楽芸術研究Ⅱ	2	
						美術研究Ⅰ	2	美術研究Ⅱ	2	
						人間形成実践Ⅰ	2	人間形成実践Ⅱ	2	
言語・文学科目群	選 択					基礎日本語学	2	日本語と文化	2	
						基礎英語学	2	英語と文化	2	
						英 語 史	2	言語学概論	2	
						英米文学史Ⅰ	2	英米文学史Ⅱ	2	
						比較文学	2	兵庫の文学	2	
						作品批評Ⅰ	2	作品批評Ⅱ	2	
								文学と社会	2	
			国語概説	2	古典国文法	2	国語講読Ⅰ	2	国語講読Ⅱ	2
					日本文学概説	2	日本文学史Ⅰ	2	日本文学史Ⅱ	2
			英語講読Ⅰ	2	英語講読Ⅱ	2	英語表現Ⅰ	2	英語表現Ⅱ	2
人と社会と自然科目群	選 択					人間環境概論Ⅰ	2	人間環境概論Ⅱ	2	
						環境と生命Ⅰ	2	環境と生命Ⅱ	2	
						環境文化誌Ⅰ	2	環境文化誌Ⅱ	2	
						人類の歴史Ⅰ	2	人類の歴史Ⅱ	2	
						人類学概論Ⅰ	2	人類学概論Ⅱ	2	
						社会調査法	2	人文情報処理	2	
						フィールドワーク論Ⅰ	2	フィールドワーク論Ⅱ	2	
						地域社会概論Ⅰ	2	地域社会概論Ⅱ	2	
			歴史Ⅰ	2	歴史Ⅱ	2	歴史Ⅲ	2	地 誌 学	2
キャリア科目	選 択					人間文化概論Ⅰ	2	人間文化概論Ⅱ	2	
						歴史文化概論Ⅰ	2	歴史文化概論Ⅱ	2	
			キャリア形成入門Ⅰ	2	キャリア形成入門Ⅱ	2	キャリア形成講義Ⅰ	2	キャリア形成講義Ⅱ	2
						キャリアトレーニング特別講義Ⅰ	2	キャリアトレーニング特別講義Ⅱ	2	
					キャリア実習ⅠA	1	キャリア実習ⅡA	1		
					キャリア実習ⅠB	1	キャリア実習ⅡB	1		

○印の科目：配当された年次において、必ず履修しなければならない。
 △印の科目：企業インターンシップ・海外インターンシップ等の単位認定のための科目。

3 年 次				4 年 次				卒業所要単位
第5セメスター		第6セメスター		第7セメスター		第8セメスター		
科 目 名	単位数	科 目 名	単位数	科 目 名	単位数	科 目 名	単位数	
						卒 業 研 究	4	16 単位以上 (卒業 研究4単位を含む)
○ 専 攻 演 習 I	2	○ 専 攻 演 習 II	2	○ 卒業研究演習 I	2	○ 卒業研究演習 II	2	
人文の知専門講義Ⅲ	2	人文の知専門講義Ⅳ	2					8 単位以上 (ただし 1 年次配当の「人文の 知」から4単位以上)
道徳教育の指導法	2	教育方法論	2					40 単位以上 (ただし各科目群から6単位以上)
人間形成論Ⅲ	2	人間形成論Ⅳ	2					
生涯学習研究Ⅰ	2	生涯学習研究Ⅱ	2					
倫 理 学	2	宗 教 学	2					
		文化 交 流 論 Ⅲ	2					
映 像 研 究 Ⅲ	2	映 像 研 究 Ⅳ	2					
アートマネジメント	2	日本伝統芸能論	2					
音楽芸術研究Ⅲ	2	舞台芸術研究	2					
美術研究Ⅲ	2							
		人 間 文 化 実 践	2					
日 本 語 学 Ⅰ	2	日 本 語 学 Ⅱ	2					
日英対照研究Ⅰ	2	日英対照研究Ⅱ	2					
異文化コミュニケーション研究Ⅰ	2	異文化コミュニケーション研究Ⅱ	2					
英語圏文学読解Ⅰ	2	英語圏文学読解Ⅱ	2					
作 品 解 釈 Ⅰ	2	作 品 解 釈 Ⅱ	2					
作 品 創 作	2							
文 学 と 人 間	2							
日本文学読解Ⅰ	2	日本文学読解Ⅱ	2					
英 語 音 声 学	2	英 文 法	2					
人間環境論Ⅰ	2	人間環境論Ⅱ	2					8 単位以上
地球環境論Ⅰ	2	地球環境論Ⅱ	2					
人類自然誌Ⅰ	2	人類自然誌Ⅱ	2					
人類の歴史Ⅲ	2	人類の歴史Ⅳ	2					
人類社会文化誌Ⅰ	2	人類社会文化誌Ⅱ	2					
人類進化誌Ⅰ	2	人類進化誌Ⅱ	2					
地域社会分析Ⅰ	2	地域社会分析Ⅱ	2					
人と社会と自然特論Ⅰ	2	人と社会と自然特論Ⅱ	2					
地域社会学Ⅰ	2	地域社会学Ⅱ	2					
人文地理学	2	自然地理学	2					
人間文化論Ⅰ	2	人間文化論Ⅱ	2					
歴史文化論Ⅰ	2	歴史文化論Ⅱ	2					
キャリア形成講義Ⅲ	2	キャリア形成講義Ⅳ	2					
キャリアトレーニング特別講義Ⅲ	2	キャリアトレーニング特別講義Ⅳ	2					
キャリア実習ⅢA	1	キャリア実習ⅣA	1	キャリアスタートⅠ	2	キャリアスタートⅡ	2	
キャリア実習ⅢB	1	キャリア実習ⅣB	1					
△インターンシップA	1	△インターンシップB	1	△インターンシップC	1	△インターンシップD	1	

A. 科目の性格と専門教育科目の修得条件

人文学部の専門教育科目は、次の科目群で構成されています。

・学部共通科目

1年次から4年次までの演習科目と卒業研究で構成されています。

卒業研究4単位を含め、16単位以上を修得する必要があります。

・人文の知科目群

人文学の学問領域を横断的に網羅する科目です。人文の知A～Fの各授業は異なった学問分野の3人の教員によってオムニバス形式で行われます。

1年次配当の「人文の知」科目4単位以上を含め、8単位以上を修得する必要があります。

・人間探究科目群

多層的な文化的活動を、主に哲学・教育・芸術・比較文化の視点から探る科目で構成されています。教育職員免許状の資格取得に必要な科目の多くが配置されています。

この科目群から6単位以上修得する必要があります。

・言語・文学科目群

言語の仕組みや実際の使用、さらには言語による芸術活動である文学に関する科目で構成されています。国語科と英語科の教育職員免許状の資格取得に必要な科目の多くが配置されています。

この科目群から6単位以上修得する必要があります。

・人と社会と自然科目群

人間の生活する空間と時間（歴史）について、現代の環境問題や社会問題も含めて広く考察する科目で構成されています。社会科・地理歴史科・公民科の教育職員免許状や博物館学芸員の資格取得に必要な科目の多くが配置されています。

この科目群から6単位以上修得する必要があります。

***人間探究科目群、言語・文学科目群および人と社会と自然科目群から各科目群6単位以上を含め、合計40単位以上を修得する必要があります。**

・キャリア科目

キャリア形成に必要な科目です。

これらの科目から8単位以上修得する必要があります。

B. 卒業所要単位数

卒業に必要な単位は、共通教育科目と専門教育科目をあわせて、124単位以上です。

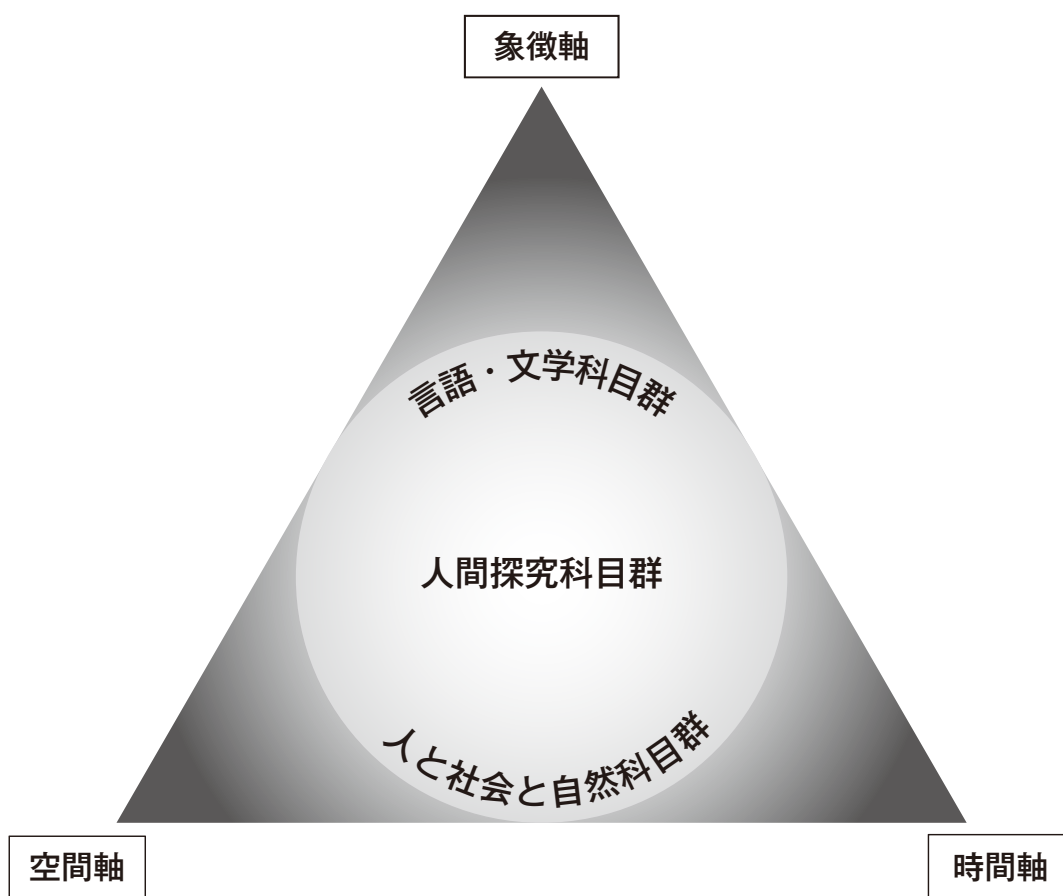
科目群ごとにも最低の履修条件が設定されています。それらを一覧表にするとP. 64、65のとおりになります。

特に注意しなければならないことは、それぞれの最低条件を足し算しても、124単位にならないことです。不足している単位数は、自分の興味や必要性に応じて、どの科目群から履修してもかまいません。意欲をもって特定の科目群に熱中してみるのもよいでしょう。それらもすべて卒業所要単位として計算される仕組みになっています。

C. 専門科目群について

人文学部では、人間を幅広くかつ深く探究するために、人間を考えるための3つの軸（象徴軸、空間軸、時間軸）を想定し、その中心に「人間探究科目群」を配置し、象徴軸には「言語・文学科目群」、空間軸と時間軸には「人と社会と自然科目群」を配置して幅広い科目を網羅しています。

- 人文の知科目群：人文学のエッセンスを幅広い角度から解説する科目
- 人間探究科目群：哲学、教育、芸術、比較文化の視点から、幅広く人間を考える科目
- 言語・文学科目群：人が言葉を用いてどのように物事を捉え、考え、表現するのか、表現されたものがどう受けとめられるのかを多面的に探究する科目
- 人と社会と自然科目群：人類を取り巻く環境と、社会や文化およびその歴史的背景について総合的に学ぶ科目



D. 演習科目

演習は教員の指導のもと、テーマに基づいて少人数で自発的な研究・発表・討議などを行い、研究のための実践的技術を身につけると同時に論理的思考力・表現力を養うための科目です。

人文学部生にとって、専門教育科目に開講する演習と卒業研究は大学生活の柱になる科目です。入学した1年次前期から4年次後期まで、履修必修科目になっています。すなわち、必ずどれかの演習を選択し、履修しなければなりません。

人文学部では1年次前期から2年次後期までの2年間は学期ごとに演習クラスが変わり、3年次前期から4年次後期までは原則として同じ演習クラスに所属して各自の卒業研究を進めます。

演習クラスの選択については、そのつど掲示等によってお知らせしますので、見落とさないように必ず手続きしてください。手続きを怠った場合は、希望していないクラスに配属されることがありますので、十分に注意してください。

なお、演習担当教員が、みなさんの指導教員として大学生活上の相談相手となります。

演習科目の概要は以下のとおりです。

	科目名	概 要
第1セメスター (1年次前期)	人文入門演習	大学に必要なスタディスキルズ（ノートテイク、情報検索、レポート作成、発表の仕方、など）を習得する。
第2セメスター (1年次後期)	基礎演習	人文入門演習で習得した学習技術を実際の問題に適用することを通して、より確実なものとする。
第3セメスター (2年次前期)	実践演習Ⅰ	3年次から始まる専攻演習を見据え、人文学に属する学問を専門的に学ぶ上で必要な知識や技能を広く習得する。
第4セメスター (2年次後期)	実践演習Ⅱ	引き続き人文学研究に必要な知識・技能を習得すると共に、3年次からの専攻演習および卒業研究の選択を定める。
第5セメスター (3年次前期)	専攻演習Ⅰ	それぞれの専門分野において研究テーマを発見するためのトレーニングを行う。
第6セメスター (3年次後期)	専攻演習Ⅱ	研究テーマへのアプローチの方法を習得し、調査・分析などの実践的作業を行う。
第7セメスター (4年次前期)	卒業研究演習Ⅰ*	卒業研究中間報告書の作成に向け、研究を進める。
第8セメスター (4年次後期)	卒業研究演習Ⅱ*	卒業研究を完成する。

※卒業研究を提出しその単位を取得するには、「卒業研究演習Ⅰ」と「卒業研究演習Ⅱ」を必ず履修しなければなりません。

E. 演習（ゼミ）の選択

「人文入門演習」から「卒業研究演習Ⅱ」までの流れ

上記のとおり、人文学部には複数の演習科目が設けられています。1年次の「人文入門演習」に始まり4年次の「卒業研究演習Ⅱ」に至る過程は、より一般的・基礎的な学びからより専門的な学びへの変化と対応しています。1年次の演習の中心課題はスタディスキルズ（学習技術）の習得にあります。2年次の「実践演習Ⅰ・Ⅱ」の中心的課題は人文学研究を行う上で必要となる基礎的知識の獲得です。2年次から3年次へ進級する際に、みなさんにとって非常に重大な「行事」があります。3年次の専攻演習を行う「ゼミ」を決めなければなりません。みなさんは基本的には3年次で選択したゼミ教員の指導を受けて、4年次の卒業研究を行います。つまり、3年次前期の「専攻演習Ⅰ」から4年次後期の「卒業研究演習Ⅱ」までゼミのクラスは同じです。

専攻演習（ゼミ）の選択の手続き：ポートフォリオの活用

みなさんは各セメスターの終盤に各自でポートフォリオを作成します。専攻演習（ゼミ）は卒業研究に直結する重要な科目ですから、ゼミ選択については十分真剣に考えなければなりません。その際にポートフォリオが役立ちます。これまでに何をどのように学んできたのか、どんな科目を履修し、どんな授業に興味を覚えたか、

自分自身ではどのような勉強をしてきたのか、等々が記されたポートフォリオを振り返ることで、自らに最もふさわしい、自分の研究したいことに深く関わっているゼミを選択することが可能になります。

どんな専攻演習（ゼミ）が設置され、具体的にはどのようにゼミ選択を行うかについては、学期初めの履修に関するオリエンテーションやゼミ説明会などの機会を利用してお知らせします。さらには、普段の授業を通して、日頃からゼミ選択について考えを巡らしておくことが必要になります。

転ゼミ

「ゼミ」を変更しようとする者は、第6セメスター（3年次後期）の1月末日までに、保証人と連署で所定の用紙に必要事項を記入のうえ、願い出ることができます。

なお、成績基準など申請資格については、教務センター（KAC）人文学部担当窓口にお問い合わせください。

F. 「卒業研究」と「卒業研究演習Ⅰ」および「卒業研究演習Ⅱ」の履修について

「卒業研究」の単位は、履修必修科目である「卒業研究演習Ⅰ」および「卒業研究演習Ⅱ」の授業を受け、卒業論文を作成し、審査に合格することで与えられるものです。卒業研究を提出し単位を取得するには、「卒業研究演習Ⅰ」と「卒業研究演習Ⅱ」、ならびに「卒業研究」を必ず履修してください。